

**令和7年度（令和6年度実施）上越教育大学学校教育学部
入学者選抜方法について（予告）**

令和5年 3月
改訂 令和5年12月
上越教育大学

上越教育大学学校教育学部では、令和7年度（令和6年度実施）から、大学入学共通テストの教科・科目及び入学者選抜の内容を下記のとおり変更します。

なお、出願資格、出願要件、募集区分及び募集人数については変更ありません。

また、本予告内容は、現時点のものであり、今後変更となる場合があるため、令和6年度に発行される令和7年度入学者選抜要項及び学生募集要項で必ず確認をしてください。

記

I 入学者選抜方法

- 1 一般選抜（分離分割方式）
 - (1) 前期日程 ……………（募集人員 77人）
 - (2) 後期日程 ……………（募集人員 33人）
- 2 学校推薦型選抜 ……………（募集人員 50人）

II 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

一般選抜及び学校推薦型選抜に出願する者は、次に掲げる令和7年度大学入学共通テストの6教科8科目又は7教科8科目の受験を要する。

教科	科目名及び利用科目の選択方法
国語	『国語』 1科目
地理歴史	『地理総合，地理探究』 『歴史総合，日本史探究』 『歴史総合，世界史探究』
公民	『地理総合，歴史総合，公共』（注1） 『公共，倫理』 『公共，政治・経済』
理科	『物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎』（注3） 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』
数学	『数学Ⅰ，数学A』、『数学Ⅰ』から1科目 ----- 『数学Ⅱ，数学B，数学C』（注7）
外国語	『英語』（注8） 1科目
情報	『情報Ⅰ』 1科目

※『 』は大学入学共通テストにおける出題科目を表し、「 」は高等学校学習指導要領上設定されている科目を表す。

- (注1) 『地理総合、歴史総合、公共』は「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つの出題範囲から2つを選択解答すること。
- (注2) 公民から2科目を選択する場合には、『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできない。
また、『地理総合、歴史総合、公共』で選択解答した出題範囲と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできない。
- (注3) 『物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つの出題範囲から2つを選択解答すること。
- (注4) 理科から1科目を選択する場合は、地理歴史・公民から2科目を、理科から2科目を選択する場合は、地理歴史・公民から1科目を選択すること。
- (注5) 理科から『物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎』を含む2科目を選択する場合は、『物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎』において選択解答する出題範囲と同一名称を付した科目（「物理基礎」と『物理』、「化学基礎」と『化学』、「生物基礎」と『生物』、「地学基礎」と『地学』）の組合せを選択することはできない。ただし、地理歴史・公民で2科目を選択する場合は、この限りではない。
この場合における本学の成績利用方法は、(注6) 2. のとおり。
- (注6) 地理歴史・公民から2科目を受験し、理科から2科目を受験した場合は、理科の科目選択方法に応じて、次の3科目の成績を用いる。
1. 理科から『物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎』を含む2科目を選択した場合に、一方の科目で『物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎』において選択解答した出題範囲と異なる名称を付した出題科目を受験した場合。
ア 地理歴史・公民の第1解答科目
イ 理科の第1解答科目
ウ 地理歴史・公民の第2解答科目又は理科の第2解答科目のどちらか高得点の科目
 2. 理科から『物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎』を含む2科目を選択した場合に、一方の科目で『物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎』において選択解答した出題範囲と同一名称を付した出題科目を受験した場合。
ア 地理歴史・公民の第1解答科目
イ 地理歴史・公民の第2解答科目
ウ 理科の第1解答科目又は第2解答科目のどちらか高得点の科目
 3. 理科において、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2科目の出題科目を受験した場合は、上記1の利用方法に準ずる。
- (注7) 数学の科目において、『数学Ⅱ、数学B、数学C』の出題範囲のうち、「数学B」及び「数学C」は、「数学B」の2項目の内容（数列、統計的な推測）及び「数学C」の2項目の内容（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）のうち3項目の内容の問題を選択すること。
- (注8) 外国語の『英語』については、リーディング及びリスニングを課す。なお、大学入試センターにおいてリスニングを免除された者については、リーディングのみを課す。

◆ 旧教育課程履修者等に対する経過措置

一般選抜及び学校推薦型選抜に出願する者で、大学入学共通テストの利用教科・科目についての旧教育課程履修者等に対する経過措置は、次のとおり。

地理歴史、公民、数学及び情報の4教科に関しては、令和7年度大学入学共通テストの受験者は、新学習指導要領に基づく教科・科目の内容による試験を受験するのが原則だが、旧教育課程履修者等のうち希望する者に対しては、次表に掲げる選択も可能とする。

教科	科目の選択方法
地理歴史	『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』、
公民	『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理, 旧政治・経済』から1又は2科目 (※1)
数学①	『旧数学I』、『旧数学I・旧数学A』から1科目 (※2)
数学②	『旧数学II』、『旧数学II・旧数学B』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』から1科目 (※3)
情報	『旧情報(仮)』(※4)

(※1) 次のア、イのいずれかを選択すること。

ア 新教育課程による出題科目の6科目のうちから1科目又は2科目を選択すること。

イ 経過措置科目の10科目のうちから1科目又は2科目選択すること。

ただし、地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできない。

なお、旧教育課程履修者等は、新教育課程による出題科目と経過措置科目を組み合わせることはできない。

(※2) 新教育課程による出題科目と経過措置科目を合わせた4科目のうちから1科目を選択すること。

(※3) 新教育課程による出題科目と経過措置科目を合わせた5科目のうちから1科目を選択すること。

(※4) 新教育課程による出題科目と経過措置科目を合わせた2科目のうちから1科目を選択すること。

『旧情報(仮)』の出題範囲は、平成21年告示学習指導要領の「社会と情報」及び「情報の科学」の内容とする。

令和7年度大学入学共通テストにおける新教育課程履修者と旧教育課程履修者等の定義

新教育課程履修	<p>① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）等に令和4年4月に入学し、新教育課程を履修、令和7年3月卒業見込みの者</p> <p>② 中等教育学校の後期課程に令和4年4月に進級し、新教育課程を履修、令和7年3月卒業見込みの者</p>
旧教育課程履修等	<p>上記以外の者</p> <p>※ 高等学校等卒業生、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格者見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、高等専修学校（文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。）修了者又は修了見込者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を令和7年3月卒業見込みであるが、入学は令和4年3月以前の者など、上記に該当しない者</p>

Ⅲ 入学者選抜の内容

1 一般選抜

(1) 前期日程

- ① 大学入学共通テスト（6教科8科目又は7教科8科目）及び実技検査等の成績並びに面接の評価結果を総合して、入学者を選抜する。
- ② 実技検査等は、次によるものとする。
 - ア 小論文
 - イ 実技検査（音楽、美術、体育のうちから1科目を選択）
- ③ 面接は、次によるものとする。
 - ア 面接形式は、受験者5人程度の集団面接とする。
 - イ 面接は、3人の面接担当者で行う。
 - ウ 個別質問、プレゼンテーション、集団討論を行う。
 - エ 面接は、調査書の内容を参考資料としながら総合的に評価する。
- ④ 大学入学共通テストと実技検査等の配点比率は、5：1とする。
配点内訳は、次のとおりとする。なお、地理歴史・公民及び理科の配点は、合計300点とする。

大学入学共通テスト							実技検査等			面接	
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語 (英語)	情報	計	小論文	実技		計
200	100又は200		100 又は200	200	200	100	1000	100	100	200	段階評価とする

(注1) 外国語の英語については、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)とする。

(注2) リスニングを免除された者については、リーディングの得点(100点)を200点満点に換算したものを英語の得点とする。

(2) 後期日程

- ① 大学入学共通テスト（6教科8科目又は7教科8科目）の成績及び面接の評価結果を総合して、入学者を選抜する。
- ② 面接は、次によるものとする。
 - ア 面接形式は、個別面接とする。
 - イ 面接は、3人の面接担当者で行う。
 - ウ 面接は、調査書の内容を参考資料としながら総合的に評価する。
- ③ 大学入学共通テストの配点内訳と面接の評価は、次のとおりとする。なお、地理歴史・公民及び理科の配点は、合計300点とする。

大学入学共通テスト								面接
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語 (英語)	情報	計	
200	100又は200		100 又は200	200	200	100	1000	段階評価とする

(注1) 外国語の英語については、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)とする。

(注2) リスニングを免除された者については、リーディングの得点(100点)を200点満点に換算したものを英語の得点とする。

2 学校推薦型選抜

(1) 推薦要件

令和5年4月から令和6年3月までに高等学校等を卒業（修了）又は令和7年3月高等学校等を卒業（修了）見込みの者で、次の①から③までのすべてに該当し、かつ、合格した場合は、必ず本学に入学することを確約できる者とする。

なお、各出身学校長が推薦できる人数の制限は設けない。

- ① 出身学校長が、初等教育教員になるためにふさわしい意欲、資質、能力、適性等を有する者として、責任をもって推薦する者
- ② 令和7年度大学入学共通テスト（6教科8科目又は7教科8科目）を受験する者
- ③ 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者

(2) 入試方法

- ① 面接及び大学入学共通テスト（6教科8科目又は7教科8科目）の成績により入学者を選抜する。
- ② 面接は、次によるものとする。
 - ア 面接形式は、個別面接とする。
 - イ 面接は、3人の面接担当者で行う。
 - ウ 面接は、推薦書、自己推薦書の内容に加え、調査書の内容を参考資料としながら総合的に評価する。
- ③ 大学入学共通テストと面接の配点比率は、10：3とする。
配点内訳は、次のとおりとする。なお、地理歴史・公民及び理科の配点は、合計300点とする。

大学入学共通テスト								面接
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語 (英語)	情報	計	
200	100又は200	100 又は200	200	200	200	100	1000	300

- (注1) 外国語の英語については、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)とする。
- (注2) リスニングを免除された者については、リーディングの得点(100点)を200点満点に換算したものを英語の得点とする。
- ④ 面接の成績が配点の50%未満の場合には、合格者とししない。

IV その他

- 1 入学者選抜に利用する大学入学共通テストの成績は令和7年度のものとする。
- 2 所属するコース（領域）の決定は、本人の希望と1年次の成績に基づいて、2年次進級時に行う。